

# UPLINK 2013年 自主上映新作リスト

## 『フォスター卿の建築術』【配給宣伝】

How much does your building weigh Mr.Foster? 2013年1月3日渋谷アップリンクにて公開(素材:BD)

現在78歳ながら、アップル新社屋の設計など旺盛な創作活動を続ける建築家ノーマン・フォスターのドキュメンタリー

建築界で常に建築界の第一線で注目され続けるイギリス人建築家ノーマン・フォスター。78歳になりながらも、その創作意欲は衰えを知らない。彼のデザインを通して生活を豊かにすることへの終わりなき探究はどこから生まれるのか? 様々なプロジェクト、本人へのインタビューを通して、稀代の建築家の本質に迫る。

監督:ノルベルト・ロペス・アマド、カルロス・カルカス

(2010年/イギリス/英語/カラー/HD/74分)



## 『ドストエフスキーと愛に生きる』 2014年2月22日アップリンク、シネマート六本木にて公開

【配給宣伝】山形国際ドキュメンタリー映画祭 2011 優秀賞と市民賞をダブル受賞

Die Frau mit den 5 Elefanten

ある老翻訳家の半生と今を描いたドキュメンタリー。静謐な映像によって綴られる歴史と記憶の物語

高潔なる知性を鋭い眼差しに宿す老翻訳家。実直に仕事に打ち込む彼女の手には戦争の記憶が深い皺となって刻まれている。ウクライナで生まれ、第二次大戦初期にドイツへと移住し、自ら「5頭の象」と称するドストエフスキーの長編5作の翻訳によって世に知られてからも、自身の過去への問いかけは続いていた。移住後はじめて訪れた故郷への旅の中で、それはウクライナの激動の歴史となって立ち現れる。一人の女性が歩んだ半生にひっそりと寄りそう静謐な映像が、文学の力によって高められる人間の尊厳をたおやかに描き出す。

監督:ワディム・イェンドレフコ Vadim Jendreyko

(スイス、ドイツ/2009/ドイツ語、ロシア語/カラー、モノクロ/35mm/93分)



## 『ダブリンの時計職人』【配給宣伝】

Parked 2014年3月29日より、渋谷アップリンク、新宿K's cinemaにて公開

ダブリンを舞台に描く、中年男性の人生の再生物語

故郷ダブリンに戻ってきた時計職人のフレッドは、イギリスで失業しダブリンの海岸沿いの駐車場に車を止め、孤独な車上生活を始めていた。ある日、カハルという青年がフレッドの“隣人”になる。明るく人懐こい性格のカハルとの交流で、次第にフレッドは前向きな新しい自分を発見していく。カハルが幼いころに父親からもらった腕時計、フレッドが淡い恋心を抱く未亡人ピアノ教師ジュールスの、夫が亡くなってから動かぬままの置時計を直したとき、3人の人生の時計もまた新しい方向に向かってゆっくりと動き始める

監督:ダラ・バーン 出演:コルム・ミーニー、コリン・モーガン、ミルカ・アフロス  
(アイルランド、フィンランド/2010年/94分)



『ふたりのイームズ:建築家チャールズと画家レイ』【配給宣伝】

2013年5月11日よりアップリンク、シネマート六本木にて公開(素材:BD)

1940~1960年代、アメリカの近代主義から生まれた新しいデザインの潮流“ミッドセンチュリー・モダン”の旗手、イームズ夫妻の素顔に迫ったドキュメンタリー。

建築事務所を構えていたチャールズ・イームズと、画家を目指していたレイ・カイザーは、運命的な出会いによって結婚し、以後、約40年にわたって、20世紀のデザイン界に数々の金字塔を二人で築き上げていく。世界的に知られるイームズ夫妻であるが、生前、彼らの私生活はほとんど明かされてこなかった。本作は、チャールズとレイの死後、初めて公にされる二人の往復書簡や写真、膨大な量の作品群、当時“イームズオフィス”にいたスタッフたちや家族へのインタビューと、二人の過去の映像を通じて、知られざるイームズ夫妻の側面を辿るドキュメンタリー映画である。ナレーションは俳優のジェームズ・フランコが務める。

監督:ジェイソン・コーン、ビル・ジャージー ナレーター:ジェームズ・フランコ(2011年/アメリカ/84分)



『世界が食べられなくなる日』【配給宣伝】

Tous Cobayes? 2013年6月8日よりアップリンクほか全国順次公開予定(素材:BD)

未来(これから)を生きるために 知っておきたいテクノロジーのこと

異例のロングランヒットをした『モンサントの不自然な食べもの』に続く、遺伝子組み換え食品の実態を追ったドキュメンタリー。監督は『未来の食卓』のジャン＝ポール・ジョー。本作は、フランスで極秘に進められていた遺伝子組み換え作物の実験に密着している。長期的に遺伝子組み換えトウモロコシをラットに与えた場合、どんな影響があるのだろうか?カーン大学のセラリーニ博士が行ったこの実験は世界中に大きな波紋を投げかけた。そして、同時に描かれるのが『原発がある風景』、日本で起こった福島原発事故以降、農家がどのような影響を受けたのかカメラは捉える。暴走するテクノロジーのその先に、どんな世界が待っているのだろうか?

監督:ジャン＝ポール・ジョー/プロデューサー:ベアトリス・カミュラ・ジョー (2012年/フランス/118分/原題:Tous Cobayes?)



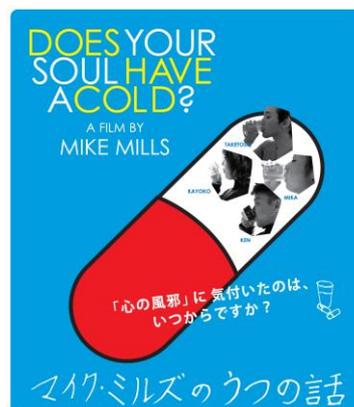
『マイク・ミルズのうつの話』【配給宣伝】

Does Your Soul Have A Cold? 2013年10月16日より渋谷アップリンクにて公開(素材:BD)

米国人グラフィックデザイナー／映像作家マイク・ミルズが、5人の日本人の抗鬱剤服用者の日常を追いながら、抗鬱剤市場のグローバリゼーションを提議する。

『サムサッカー』(2005年)『人生はビギナーズ』(2010年)のマイク・ミルズ監督が、日本の友人が抗鬱剤を飲んでいるのを見て、「ふと、その光景が新しいグローバリゼーションに見えた」ことがきっかけで制作されたドキュメンタリー。映画中には、製薬会社への糾弾もなければ、監督の意見もナレーションもない。医師も登場しない。ただ5人の言葉が静かに淡々と流れるだけである。「僕は基本的に人間のポートレートをもとにした映画を作りたいと思っています。人間はどうやって自分の世界を構築し、何を考えているのかということを描きたい」。

監督:マイク・ミルズ (2007年/米国/日本語・英語/カラー/HD/84分)



『アルマジロ』【配給宣伝】 山形国際ドキュメンタリー映画祭 2011 インターナショナル・コンペティション作品

Armadillo 2013年1月19日よりアップリンク、K's cinema、銀座シネパトスほか全国順次公開(素材:BD)

アフガニスタンの前線に置かれた対タリバン基地“アルマジロ”で、軍務に就いたデンマークの若者たちは、何を得て、何を失ったのか。

兵役のあるデンマークでは、すべての男子が9ヶ月間の軍務に就く。取材チームはアフガニスタンへ派遣されることになった若者に焦点を合わせる。最前線基地アルマジロ・キャンプでの緊張感に満ちた日々。タリバンとの交戦もはらんだテンションの高い日常のなかで過ごすうち、兵士たちは次第にアドレナリン中毒に陥っていく。7ヶ月後、若者達は帰国する。二度と軍務にはつかないと言う者、正式に軍隊に入り再びアルマジロに行くと宣言する者、反応は様々だ。戦争とは何なのか。



『ヴィダル・サスーン』【配給宣伝】

Vidal Sassoon:The Movie

2012年5月26日(土)より渋谷アップリンク、新宿武蔵野館、銀座テアトルシネマにて公開/上映素材(BD、DVD)

ハサミで世界を変えた男、ヴィダル・サスーン。今年83歳になる世界的ヘアスタイリストの生涯を追ったドキュメンタリー

ロンドンの孤児院で育ち、戦争と貧困を生き抜いて、国際的な名声をおさめるに至ったヴィダル・サスーン。ユダヤ人としてイスラエル軍に入隊し、ファシズムと戦い、古風なヘアスタイリングの世界と格闘する。そしてパウハウスに影響を受けた幾何学的なボブカットと、Wash and Wear(洗ったままで形になるカット方)の技術で一世を風靡、マリー・クワントらとともに60年代ロンドンのファッション・シーンを牽引した。情熱と忍耐によって、腕一本で世界の頂点に立った人物の軌跡を辿る。

監督:クレイグ・ティパー

プロデューサー:マイケル・ゴードン、ジャッキー・ギルバート・パウアー

アートディレクター:スティーヴ・ハイエット/脚本:ヘザー・ゴードン

キャスト:マリー・クワント、川島文夫、クリストファー・ブルッカー、ヨシュア・ガルヴィン、ジョン・フリーダ、ティム・ハートリー、キャロライン・フォックス他(2010年/アメリカ/91分)



『聴こえてる、ふりをしただけ』【配給宣伝】 第62回ベルリン国際映画祭ジェネレーション部門こども審査員特別賞受賞!

2012年8月11日公開より、渋谷アップリンクにて公開/上映素材(BD)

新鋭・今泉かおり監督が、自らの体験と記憶をもとに繊細に描く“目には見えない魂”の物語。

本業が精神科の看護師であり、2人の子供の母親でもある今泉かおり監督による初の劇場長編作。主人公である5年生の少女が感じた、容赦なき現実との葛藤は、今泉監督自身の実体験である。今泉監督は小学生の時に、家族が大病したことで、突然にして大人になることを強いられた。そんな複雑な胸の内とは裏腹に、学校ではこれまでの日常生活を送らなければならなかった辛い思いを、本作では再現しながら撮ったという。少女が脳と魂の関係に気づき、お化けが怖くなくなると同時にむなしさを感じる姿など、巧みな心理描写によって全編が綴られていく。

監督・脚本・編集:今泉かおり(2012年/日本/99分)



『モンサントの不自然な食べもの』【配給宣伝】

The World According to Monsanto

2012年9月1日公開予定 /上映素材(BD)

米国政界を取り込み遺伝子組み換えのリスクを隠蔽し、圧倒的なシェアで市場を支配する脅威の多国籍企業モンサントを、フランスのジャーナリストが3年間調査したドキュメンタリー。

アメリカに本社を構えるアグロバイオ企業「モンサント社」、世界の遺伝子組み換え作物市場の90%を誇るグローバル企業の、クリーンなイメージに隠された裏の姿をカメラは追う。本作は、「モンサント社」の1世紀にわたる歴史を語ると共に、現在のモンサントとその主張を、多くの証言と機密文書によって検証していく。「1ドルたりとも、儲けを失ってはならない」、その企業体質は、はたしてどんな犠牲を私たちに強いるのだろうか。そして、不利と分かりながら、巨大企業と対峙する学者や農家、多くの証言者たちの生きるための闘いは、わたしたちの闘いでもある



監督:マリー・モニック・ロピン (フランス/2008/フランス語・英語/カラー/82分)

『わたしたちの宣戦布告』【配給宣伝】 米国アカデミー賞 2011 外国語映画賞フランス代表作品  
La guerre est déclarée 仏国セザール賞 2011 6部門ノミネート  
2012年9月15日よりル・シネマにて公開予定／上映素材(DCP、BD)

ロメオとジュリエットのカップル。そしてふたりの子供、アダム。闘い、病。そして偉大な愛の物語。女優としても活躍しているヴァレリー・ドンゼッリの監督二作目。

「この映画は私自身に起こった現実の話をもとにしています。自由奔放な若いカップルが予期せぬ事態に直面し、過酷な運命に翻弄されます。自分たちの息子にされ病が発見、大人にならざるを得ない状況に追いつめられるのです。しかし悲しみが深いほど、彼らは自らの強さと勇気に気づきます。人間の真のヒロイズムが現れるのは、危険に満ちた人生との戦いの中でしかありません」——ヴァレリー・ドンゼッリ

監督:ヴァレリー・ドンゼッリ 出演:ヴァレリー・ドンゼッリ、ジェレミー・エルカイク、ガブリエル・エルカイク、ブリジット・シイ(2011年/フランス/100分)



## 『ミラクルツインズ』【配給宣伝】

The Power of Two

2012年11月10日アップリンクにて公開予定／上映素材(BD)

一卵性双生児として生まれた日系アメリカ人姉妹が、いかに難病と格闘し克服したかを描く、奇跡のドキュメンタリー

日本人の母親とドイツ人の父親のもとに生まれた一卵性双生児姉妹:アナベルとイサベル・ステンツェル。生まれながらにして腭嚢胞線維症という肺の難病を抱えた二人が、移植後、臓器移植のスポーツウーマンとして、またアスリートとして、新たな人生を歩んでいく姿を描写く。また、彼女たちをとりまく家族、臓器提供者の家族、そして多くの友人の存在により、様々な角度から、臓器移植、臓器提供の意義を訴える。

監督:マーク・スモロウィッツ (2011年/アメリカ・日本/94分/英語・日本語)

